2019 6・24 月4回 月曜日発行 第1107号

週刊ビル経営

発行所 ㈱ビル経営研究所
〒104-0061
東京都中央区銀座7-17-12 2F
TEL 03(3543)7421
FAX 03(3543)5839
発行人 垂澤清三
年間購読料25,000円（税別）
KAMEOKA NEWS AGENCY CORPS
亀岡大郎取材班グループ

今週の注目記事

⑥ ビルのバリアフリー 日本点字図書館の工夫
⑨ 環境対応・BCP対策… 電力革命巻き起こる
⑳ 「ここにしかない」で人呼ぶ 個性派ビル・ホテルを紹介
⑩ ビルメンテナンス業界の新たな変化
⑫ ホテル運営会社　次の一手を探る
⑭ 貸ビル街探訪　六本木編
⑱ クローズアップ　駐車場編

いちご

江ノ島にライフスタイル提案型施設開設

ランドリー、カフェ、ストレージを1棟に集約

ランドリーやトランクルームは不動産活用のメニューとして採用されることもある。これらを組み合わせて、ライフスタイル提案型の施設が江ノ島に誕生した。先行オープンした事例ではストレージの稼働もわずか4カ月で70%。不動産運用としても妙味の高い取り組み。最新施設の内部と、その戦略に迫った。

いちご
常務執行役財務本部長
渡邊　豪氏

ランドリー、カフェ、トランクルームの複合店「ストレージプラス江ノ島店」がオープンした。ランドリーサービスを通じて新しいライフスタイルを提案するOKULAB（東京都渋谷区）が「Baluko Laundry Place 江ノ島」としてストレージプラス（東京都千代田区）と手を組んだ複合型ビルは神奈川県藤沢市の江ノ島電鉄「江ノ島」駅から徒歩5分、ストレージプラスが企画し、建築した海が見える新築の5階建て。

1階から4階にはストレージプラスが運営するトランクルームが併設されており、1階には大型バイク専用、2階にはロードバイク専用など地域のニーズに対応した特別なトランクルームを用意した他、3階～4階は自宅のクローゼットのように気軽にランドリー後の収納も可能だ。

5階のランドリーフロアではふとんも洗える大型洗濯乾燥機のほか、スニーカー専用のウォッシャーとドライヤーまである。さらに大きな特色はFUNGO（東京都渋谷区）が提供する「クロスロードベーカリー」のカフェだ。ランドリーの待ち時間に、同じフロアで海を見ながらゆっくりと小川珈琲のコーヒーや湘南ビールの生ビールが楽しめる。

このプロジェクトの仕掛人であるいちご（東京都千代田区）の常務執行役財務本部長・渡邊豪氏は、「単に『洗濯』をするのではなく『洗濯』が楽しくなるようなライフスタイル空間を提供したい。また、ストレージとランドリーがコラボすることで『洗濯と片付け』が一緒にできます。平塚市で本年3月に、このコラボを先行して開業したのですが、ストレージ稼働率はわずか4か月で70%でした。ランドリーのみの提供よりもストレージ稼働率に与える効果が高いことは実証されています。今後も単なる『洗濯』が、楽しくなる『空間づくり』を進めていきたい」と語った。また、不動産市況については、「昨年暮れから銀行融資が付きにくい状況が一部現実となり、企業により影響に差があるのではないでしょうか。信用度の高い企業には取得においては追い風となっています。弊社にとっても取得において今年は良い状況ではありますが、だからこそ我々は慎重に状況（もっと安くなるのではないか、高値掴みではないか）を現在分析しています」と語った。

▶江ノ島で開業

▲ランドリーとストレージがシナジー起こす

省エネをテーマにビルキョウサロン開催

東京ビルヂング協会（東京都千代田区）は18日、6月度「ビルキョウサロン」（三火会）を開催した。今回のテーマは省エネや管理業務の効率化等にスポットを当て、出光昭和シェル（東京都千代田区）電力販売部販売2課・セールスマネージャーの綿谷鮎子氏が、「電気代のコスト削減、管理業務の効率化と新たなビジネスチャンスについて」と題し、電力市場と新電力市場の今後、電力自由化の経緯から自由化市場の状況、新電力の送電の仕組みや自社の電力

▲熱心に聞き入る参加者